

## 中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 生体がもつ巧妙な炎症制御機構の解明から治療応用へ
2. 研究代表者： 古橋 和拡（名古屋大学 医学部附属病院 病院講師）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、間葉系幹細胞（MSC）に着目した微小環境での炎症制御機構の解明を進めることで、局所でのみ炎症を制御できる新規治療法へ結びつけることを目指す。フェーズ 1 では生体内 MSC における標的分子の炎症制御機能の評価を進めるとともに、標的分子を治療へ応用するための MSC 培養装置の開発を進める等、着実に成果を重ねた。フェーズ 2 では、腎不全改善につながる標的分子等の同定を進め、治療応用への可能性が示されることが期待される。本研究により診断治療の基盤技術として広く活躍できる可能性が生まれることを期待する。

以上